

# 令和3年度春季地方ブロック土木部長等会議

## 国土地理院からの情報提供 96

1. 自然災害伝承碑の取組について……………p.2
2. 最新の地図情報提供に係る連携(道路等情報の更新)  
—電子国土基本図の迅速更新—…………… p.6

令和3年5月12日  
国土地理院



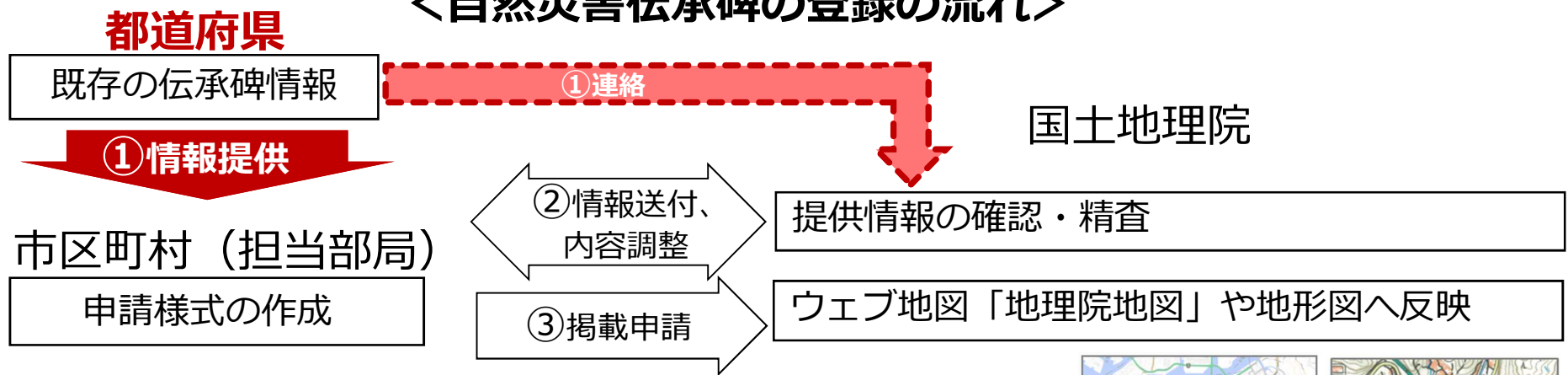
# 自然災害伝承碑の取組について（協力依頼）

国土地理院では、2019年度から自然災害伝承碑を地図に掲載し、災害教訓を周知・普及する取組を市区町村と連携して行っております。現時点では47都道府県267市区町村898基が地図に掲載されています。

これまでも都道府県・地方整備局等にもご協力を頂きながら、市区町村に自然災害伝承碑と思われる碑の情報を提供し、登録を促す取組を行っているところです。国内に現存する自然災害に関連する碑の数は数千とも言われており、自然災害伝承碑の情報が全国的に網羅されれば、地域の災害リスクを国民一人一人が把握でき適切な避難行動に役立つことが期待されます。

つきましては、**貴都道府県で管理されている河川、砂防、道路、港湾、公園等に、地図に掲載されていない自然災害伝承碑の情報がございましたら、関係市区町村に情報の提供と登録の推奨を、また、併せて国土地理院地方測量部・支所へご連絡**頂けますようお願いいたします。

## <自然災害伝承碑の登録の流れ>



自然災害伝承碑の詳しい登録方法：  
[https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi\\_info.html](https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_info.html)



【取組全般の問い合わせ先】 応用地理部 自然災害伝承碑グループ Tel:029-864-6269 E-mail: [gsi-denshou@gxb.mlit.go.jp](mailto:gsi-denshou@gxb.mlit.go.jp)

# 自然災害伝承碑の取組について【取組状況】

<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>



## 「自然災害伝承碑」とは？

- ◆ 過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の**自然災害に係る事柄（災害の様相や被害の状況など）**が記載された**石碑やモニュメント**
- ◆ 自然災害伝承碑は、**当時の被災状況を伝えると同時に、被災場所に建てられていることが多く、それらを地図を通じて伝え、地域住民による防災意識の向上に役立つものと期待されます。**



ウェブ地図「地理院地図」の掲載例



2万5千分1地形図の地図記号掲載例

## ○地方公共団体のHPでの活用事例

長野県

長野県では県内各地に残る災害の伝承にかかる地形や遺構、石碑等のデータをまとめて災害伝承カードを作り、**現地を巡って見て感じて、それらが伝える先人たちの教訓を災害の備えに活かす、「過去の災害に学ぶ」ページでコンテンツを紹介。長野県は自然災害伝承碑の取組を応援しています。**

長野県HPより引用

# 「自然災害伝承碑の地図化を通じた災害教訓の周知・普及」

## ○地方公共団体による活用事例

能代市で定期的に行われている「地元探訪まちあるき」において地理院地図に掲載されている **自然災害伝承碑** (**7カ所**) を探訪するイベントを開催。現地ガイドもあり参加者が地域を歩きながら自然と過去の災害情報に触れる機会を創出する。

### 秋田県能代市



自然災害伝承碑めぐりの様子（能代市提供資料より）

## 《様々な活用が期待されます》

### ○学校における学習教材

地理・歴史や小学校社会科等の教材に利用することで身近な災害履歴を学べる

### ○地域探訪の目標物

歩こう会などの探訪コースを設定する際の目標物とすることで、参加者が地域を歩きながら自然と過去の災害情報に触れる機会を創出

### ○防災地図の素材

自然災害伝承碑の情報などを素材とした防災地図を児童生徒が現地調査を交えながら作成することで、防災意識が向上

## ○教育分野での活用事例

### 鳥取県立鳥取西高等学校

鳥取西高等学校の「地理歴史（地理B）」の授業の中で地理院地図に掲載されている**自然災害伝承碑**などを活用。

この授業の狙いは、「なぜ、そこに自然災害伝承碑があるのか」を調べることで、地域の地形の特徴、土地利用の変化、過去・近年に発生した自然災害を知り、ハザードマップを使用した災害予測等を学び、住民ひとりひとりの防災行動計画といった「マイ・タイムライン」の作成を通して**生徒の防災意識を高める**こととされています。

千代川で起きた過去の災害は？  
③自然災害伝承碑を探そう  
探し方：地理院地図

鳥取市内からこのマークを探せ！

③自然災害伝承碑を探そう 探し方！

この地図で③

なぜ、伝承碑がここにあるのか？

鳥取平野の災害危険性  
⑤どんな災害が予想されているか？  
調べ方：重ねるハザードマップ

重ねるハザードマップ

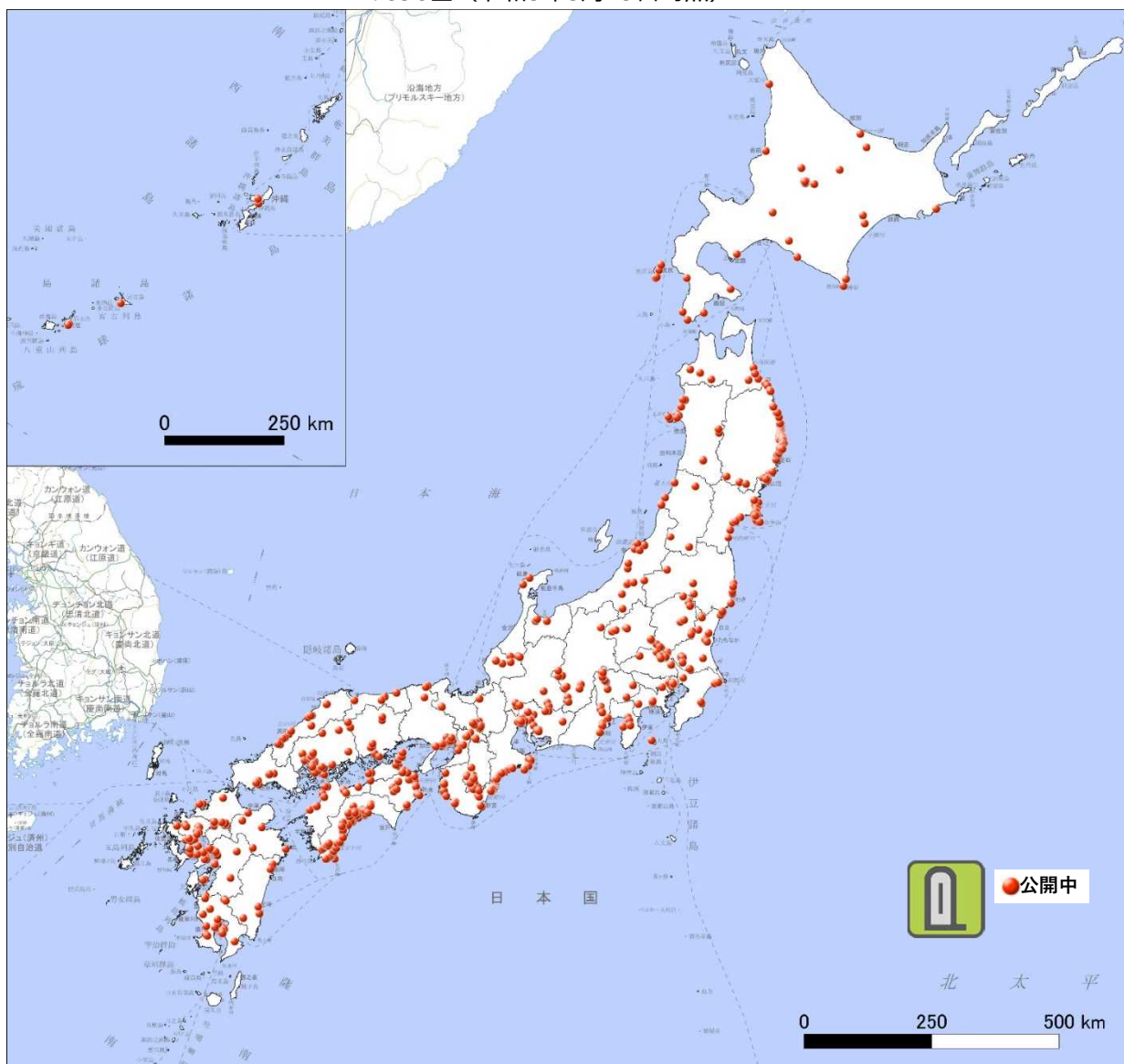
【洪水】の予想浸水深さや範囲、記入しておこう。

鳥取県立鳥取西高等学校 中村先生提供資料より

# 「自然災害伝承碑の分布図及び登録状況」

## 掲載分布図

地理院地図での公開数は47都道府県267市区町村の898基（令和3年3月29日時点）



## 都道府県の登録基数

北海道	33	滋賀県	7
青森県	11	京都府	8
岩手県	107	大阪府	7
宮城県	43	兵庫県	38
秋田県	15	奈良県	25
山形県	7	和歌山県	28
福島県	9	鳥取県	6
茨城県	25	島根県	12
栃木県	10	岡山県	8
群馬県	12	広島県	35
埼玉県	14	山口県	7
千葉県	10	徳島県	21
東京都	23	香川県	15
神奈川県	6	愛媛県	12
新潟県	14	高知県	80
富山県	8	福岡県	14
石川県	4	佐賀県	19
福井県	7	長崎県	16
山梨県	13	熊本県	11
長野県	13	大分県	5
岐阜県	6	宮崎県	7
静岡県	18	鹿児島県	22
愛知県	25	沖縄県	6
三重県	56		

## 最新の地図情報提供に係る連携(道路等情報の更新) —電子国土基本図の迅速更新—

国土地理院は、電子国土基本図の整備に際し、道路、鉄道の新規供用など、防災や国土管理上重要な役割を果たしている公共施設の変化に優先的に対応し、施設の整備効果増進にも繋げるべく、速やかな更新・提供に取り組んでいます。

国及び都道府県管理の道路については、地方整備局や地方公共団体と連携し、最新の地図情報を提供しています。その更新に際しては、都道府県等から工事用図面のCADデータ等資料を提供いただいております。

今後も資料の提供にご協力をお願いします。

### 【道路管理者と連携した主な迅速更新事例（2020年度）】

管理者	更新事項	規模 (m)	地図更新日
北陸地方整備局	国道7号大夫興野IC	1,000	2021/4/15
//	国道8号小松バイパス	1,270	2020/11/1
新潟県	国道18号道の駅あらい交差点	650	2021/1/22
//	県道68号燕分水線	200	2020/9/10
//	県道295号下戸倉五泉線	550	2020/9/18
富山県	国道8号小川橋側道歩道橋	180	2020/6/25
//	県道60号入善朝日線	1,500	2020/8/24
//	県道67号宇奈月大沢野線	877	2020/11/5
石川県	国道249号黒島道路	380	2020/5/28
//	県道60号金沢田鶴浜線(のと里山海道)白帆台IC	755	2020/10/11
//	臨港道路戸水無量寺線	1,200	2021/1/22

### 【協力のお願い】

- 「地理院地図」 (<http://maps.gsi.go.jp/>) に未反映の道路があった場合は、下記連絡先までご連絡ください。CADデータをご提供いただければ、迅速に反映いたします。
- 市町村道については、県又は市町村の窓口（土木部等）を通じて、CADデータの提供を依頼し、**広域のネットワーク**を形成する**緊急輸送道路**などの**主要な市町村道**を地図に迅速に反映します。ご協力をお願いいたします。

国土交通省国土地理院北陸地方測量部

〒930-0856 富山県富山市牛島新町11-7 富山合同庁舎5階

TEL:(076)441-0888 FAX(076)441-0889 電子メール:gsi-hr-kihon-o@gxb.mlit.go.jp